

2019年11月13日

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

平城宮跡歴史公園での自動運転バスの実証実験に参画

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、自動運転ソフトウェアを開発する PerceptIn 社（本社：香港）の日本法人である PerceptIn Japan 合同会社（本社：東京都千代田区、社長：Shaoshan Liu、以下「パーセプティン」）および株式会社マクニカ（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：原 一将、以下「マクニカ」）が国営平城宮跡歴史公園（奈良県奈良市）で行う自動運転バスの社会実験に参画します。

1. 背景

パーセプティンおよびマクニカは、自動運転バスの「マイクロ・ロボットタクシー」(*1)を活用したモビリティビジネスの創出を目的として協業し、2019年11月から2020年3月の期間に、8人乗り低速電動車両を活用した「マイクロ・ロボットタクシー」サービスの社会実験を行います。本社会実験では、来園者の回遊性、アトラクションとしての集客性、公園サービスの事業性やモビリティサービスにおける社会受容性の検証を行います。

損保ジャパン日本興亜は、自動運転バス走行の安全な運営、および限定空間における新たな自動運転移動サービスの社会受容性検証を目的に、本社会実験に参画しました。

(*1) 最寄駅と自宅間のラストマイル、地域住民の生活の足、そして観光スポット間の移動など、公共交通や既存の交通手段を補完する、新しいコンセプトのマイクロモビリティ。

2. 当社の役割

損保ジャパン日本興亜はリスクアセスメントを担当し、来園者が乗車する自動走行デモンストレーションを安全に運営するためのサポートを行いました。

3. 今後について

損保ジャパン日本興亜は、自動運転を活用したモビリティサービス実証に参画し、「安心・安全で豊かな自動運転社会」の実現に向け、研究をさらに加速させ、自動運転技術の社会実装に貢献していきます。

以上

【今回の社会実験に使用するマイクロ・ロボットタクシー】

